

科目名	経営情報論Ⅱ Information System in Management Ⅱ						
科目担当者	本村 信一 MOTOMURA Shinichi						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>本科目の講義内容は、経営情報論Ⅰの応用・発展的内容であり、経営に結び付く高度な情報技術に関する事柄や、現在のICTがもたらす負の側面から経営情報の未来に至るまでを分析・考察するものとなっている。経営情報論Ⅱでは、より情報工学の切り口を強め、今後のビジネスにおいて望まれるICTの専門知識も修得できるような内容で進めていく。そのため、講義では現在の企業を支える情報システムについて、原理や理論を知り、情報技術が企業経営にもたらす様々な変化や影響などを深掘りし、情報技術の立場から企業経営の問題点やあり方までを探求できる力を身に着けることが目的である。</p>						
授業の到達目標	<p>① 情報技術の発展が企業の経営活動を変容させ、コンピュータやインターネットなどがビジネスの競争に多大な影響を及ぼしていることが理解でき、今日の高度な情報技術の原理や経営との結びつきを説明できる。さらに、経営情報システムの設計・開発の内容や問題点が理解できる。</p> <p>② 最新の情報技術が様々な業界や企業経営に大きな影響を与えていることについて、光と影の両面を理解し、経営情報や経営情報システムに関する文献・記事等を検索・調査でき、自分の考えを整理して報告することができる。</p>						
授業計画・内容	1	ガイダンス					
	2	経営情報とICTの発展					
	3	経営情報とデータベース					
	4	経営情報とネットワーク・コンピューティング					
	5	経営情報とAI・機械学習					
	6	経営情報と仮想現実・拡張現実					
	7	経営情報とネットビジネス					
	8	経営情報とDX					
	9	経営情報とビジネスインテリジェンス					
	10	経営情報におけるデータサイエンティストの果たす役割					
	11	経営情報システムの設計・開発1					
	12	経営情報システムの設計・開発2					
	13	経営情報におけるICT社会の負の側面					
	14	未来の経営情報論					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	<p>次回の授業範囲を予習し、概要等について理解しておくこと。(毎週2時間程度)</p>						
授業外学修 (事後学修)	<p>毎時の授業で学習した専門用語等について、復習し理解すること。(毎週2時間程度)</p>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験				60%		①
	ミニテスト(授業終了前に毎回課す) レポート				20% 20%		① ②
成績評価基準	<p>秀：(評点90点以上)到達目標を極めて高い水準で達成している場合  優：(評点80点～89点)到達目標を高い水準で達成している場合  良：(評点70点～79点)到達目標を一定の水準で達成している場合  可：(評点60点～69点)到達目標を最低限の水準で達成している場合  不可：(評点60点未満)到達目標に達していない場合</p>						
教科書	オリジナル授業資料を事前に用意し、講義中にアップロード資料を閲覧する。						
参考文献							
その他							